

第1学年 教科(国語) 単元名「大人になれなかった弟たちに…」

●単元(題材)の目標

- (1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意することで、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。
- (2) 場面の展開や登場人物の相関関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。
- (3) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで文章を読み、思いや考え方を伝え合おうとする。

●指導計画(全7時間扱い)

【第1時】

- 本文を通読し、登場人物の関係や話の内容を捉える。
- 感想や疑問を交流する。

< 協働 >

【第2～4時】

- 場面の展開を捉えながら、場面ごとの登場人物の心情を捉える。

< 協働 >

【第5～7時】

- 更に探究したい課題を立て、学級としていくつかに分類したうえで探究する。
- 個で探究したのち、同様の課題を選んだもの同士のグループで共有したうえで、課題に対する最終的な自分の考えをレポートにまとめ、全体で交流する。

< 指導の個別化・学習の個性化 >

●単元(題材)における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

<指導の個別化>

- ・探究の際に、教科書や既習のスライドワークシート、登場人物のおかれた時代背景など、必要に応じて自己で教材を選択し学習を進めさせる。
- ・ワークシートやレポート作成の際に、個の実態に応じて、ルビ振り教科書やICT端末の利用を可とする。
- ・レポート作成の際、紙ベースでもスライド形式でも可とし、まとめ方においても、ベースは示しつつ、自己流でまとめることを可とする。

<学習の個性化>

- ・おおよその概要をとらえたのち、探究課題を自己で設定させ、既習事項をもとに課題解決をさせる。

協働的な学び

<協働的な学び>

- ・学級で課題を交流し、いくつかのグループに分類した上で、探求の途中経過を交流し、学びを互いに深める活動を設定する。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・スクールタクト ・ジャムボード

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」指導略案

国語科

指導者 本木 沙知恵

クラス 1年1組

1. 題材名 「大人になれなかった弟たちに……」

2. 授業のねらい

描写から読み取れる場面の展開や登場人物の相関関係、心情の変化を根拠に、自らたてた課題を探究する。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
・前時までの学習を振り返る ・学級で上がった探究課題を再確認する	・大型テレビを用い、前回までの授業スライドで内容を振り返る	
・自ら選んだ探究課題について、本文中の描写を根拠に意見をまとめる(個人) 【ワークシート・端末】 ・同じ課題を選んだ者同士でグループになり、互いの意見を交流しメモする(協働) 【ワークシート・端末】	・ワークシートは手書きでも入力でも可とする ・既習の内容を活かすように、教科書以外に授業スライドやワークシートを振り返り活かすように助言する。 ・意見を発表し合うだけでなく、必要であれば互いに質問したり協議するよう促す。	個性化(課題の選択) 個別化(教材の選択) 協働(意見交流) 個別化(教材の選択)
・協働学習を経て、自らの意見を再構築して、まとめる(個人) 【ワークシート・端末】 ・次回はワークシートをもとにレポートにまとめることを確認する	・協働学習において自己の意見の参考になったものには赤でラインを引いたり、自己の意見を赤で添削するなどして、自己の学習の調整を視覚化させる。	個別化(教材の選択)

※どの場面で、どのアプリケーションを利用するのかが分かるように記述してください。

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面等)等

- ・ジャムボード(探究課題の提示)
- ・スクールタクト(既習事項の振り返り、ワークシート入力)